

輸出事業計画

※申請者名：全国農業協同組合連合会茨城県本部、品目：コメ

1. 輸出における現状と課題

1. 現状

J Aグループ茨城が茨城県産米の「新たな市場」開拓を目的として、平成30年産からコメの海外輸出をスタート。輸出にあたっては、全農グループの輸出会社である全農インターナショナル株式会社から海外市場における需要とニーズを共有し、生産者・J Aと設立した「J Aグループ茨城 米輸出協議会」において、情報共有と輸出戦略等の協議・検討を実施。業務用向けを主力に、用途に応じた「適性品種」の生産と産地化を行い「コメ輸出基地」の構築を目指す。

2. 課題

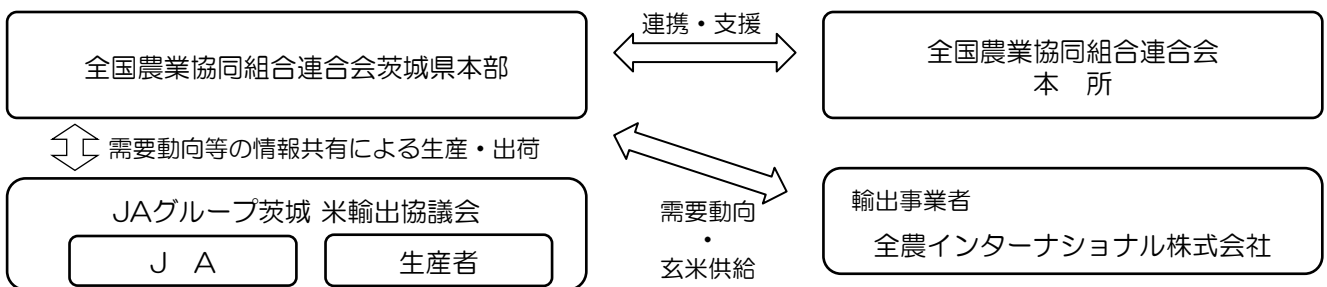
- (1) 生産面：「再生産可能価格」に向けた品種の選定と生産者手取りの確保。
- (2) 流通面：長期販売に向けた保管体制の確保と新型コロナウイルス感染拡大の影響による輸出経費の増高。
- (3) 販売面：新型コロナウイルス感染拡大の影響による、業務向け需要の減少。海外における日本産米間での競合。

2. 輸出事業計画の取組内容

1. 取組内容

- (1) 生産面：
 - ・業務用実需者の使用用途や需要に応じた「品種」の選定と作付拡大。
 - ・J Aグループ茨城 米輸出協議会による組織運営を行い、全農県本部・J A（生産者）・県（行政）と連携して、マーケティングに基づく米輸出基地計画を策定する。
- (2) 流通面：
 - ・J Aグループ茨城の既存コメ関連施設を活用し、流通・保管コストの低減化を図る。
 - ・保管から精米まで産地 J Aグループ内で一貫して行うことで、品質管理・トレサビリティの確保を図る。
 - ・出荷資材（フレコン等）の統一によるスケールメリット創出と保管管理の改善。
- (3) 販売面：
 - ・全農グループの輸出会社・海外拠点を活用した情報収集と販路開拓
 - ・全農グループ輸出会社と連携し、既存輸出先国以外の国や地域で「コメ消費」文化の普及を図る。
 - ・海外での販売プロモーションの実施

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現 状（令和2年度）	目標年（令和6年度）
輸 出 額	1.2億	1.6億
輸 出 量	767 t	1,500 t
輸 出 先	香港, 英国, フィンランド シンガポール 等	香港, 英国, フィンランド シンガポール 等